

令和 5 年 4 月 26 日

国土交通省関東地方整備局

東京国道事務所、相武国道事務所、首都国道事務所、川崎国道事務所、大宮国道事務所、東京外かく環状国道事務所

令和 5 年度関東地方整備局（東京都内）道路関係予算の概要について

東京国道事務所、相武国道事務所、首都国道事務所、川崎国道事務所、大宮国道事務所、東京外かく環状国道事務所では、東京都内の直轄国道等の整備（改築事業、交通安全事業、電線共同溝事業、共同溝事業）および維持管理を実施しております。

令和 5 年度は、6 事務所計約 5 2 7 億円（維持管理費、調査費等を除く）で事業を推進します。

主な事業

○改築事業

東京外かく環状道路（関越～東名）【東京外かく環状国道事務所】

国道 357 号 東京湾岸道路（東京都区間）【川崎国道事務所】

国道 14 号 両国拡幅【東京国道事務所】

国道 15 号 品川駅西口基盤整備【東京国道事務所】

国道 20 号 八王子南バイパス＜今後 5 か年程度開通見通し（令和 3 年度公表）＞【相武国道事務所】

国道 246 号 渋谷駅周辺整備【東京国道事務所】

○交通安全事業

国道 254 号 池袋六ツ又陸橋交差点改良＜R5 工事着手＞【東京国道事務所】

○電線共同溝事業

国道 4 号 下谷（2）電線共同溝【東京国道事務所】

○共同溝事業

国道 20 号 調布（2）共同溝【相武国道事務所】

他の事業等詳細については次ページ以降参照

＜発表記者クラブ＞ 竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ

＜問い合わせ先＞ 国土交通省 関東地方整備局

東京国道事務所 電話：03-3512-9090（代表） メール：ktr-toukoku-press@mlit.go.jp

副所長 小野寺 純一（おのでら じゅんいち）（内線：205）

相武国道事務所 電話：042-643-2001（代表） メール：ktr-sobu16-home_page@mlit.go.jp

副所長 今村 忠彦（いまむら ただひこ）（内線：204）

首都国道事務所 電話：047-362-4111（代表） メール：ktr-shutokoku@mlit.go.jp

副所長（広報担当） 三屋 竜一（みつや りゅういち）（内線：205）

川崎国道事務所 電話：044-888-6411（代表） メール：ktr-kawaka60@mlit.go.jp

副所長（広報担当） 三條 憲一（さんじょう けんいち）（内線：204）

大宮国道事務所 電話：048-669-1200（代表） メール：ktr-oomiya-koho01@mlit.go.jp

副所長（広報担当） 大嶋 精一（おおしま せいいち）（内線：204）

東京外かく環状国道事務所 電話：03-3707-3000（代表） メール：ktr-gaikan@mlit.go.jp

副所長（広報担当） 中澤 一信（なかざわ かずのぶ）（内線：205）

目次

■令和5年度 主な東京都内直轄事業予算総括表	3
------------------------	---

■事業箇所図	4
--------	---

<改築事業>

① 東京外かく環状道路（関越～東名）	5
② 国道357号 東京湾岸道路（東京都区間）	6
③ 国道4号 日本橋地下歩道（日本橋地区都市再生事業）	7
④ 国道6号 新宿拡幅	8
⑤ 国道14号 両国拡幅	9
⑥ 国道14号 亀戸小松川立体	10
⑦ 国道15号 品川駅西口基盤整備	11
⑧ 国道15号 蒲田駅周辺整備	12
⑨ 国道16号 八王子～瑞穂拡幅	13
⑩ 国道16号 保土ヶ谷バイパス（Ⅱ期）	14
⑪ 国道17号 新大宮バイパス	15
⑫ 国道20号 八王子南バイパス	16
⑬ 国道20号 日野バイパス（延伸）	17
⑭ 国道20号 日野バイパス（延伸）Ⅱ期	18
⑮ 国道246号 渋谷駅周辺整備	19

<交通安全事業>

⑯ 国道254号 池袋六ツ又陸橋交差点改良	20
-----------------------	----

<電線共同溝事業>

⑰ 国道4号 下谷（2）電線共同溝	21
-------------------	----

<共同溝事業>

⑱ 国道20号 調布（2）共同溝	22
------------------	----

<維持管理>

⑲ 維持管理	23
⑳ 維持管理（道路美化活動）	24
㉑ 維持管理（長寿命化対策）	25
㉒ 震災対策への取り組み	26

令和5年度 主な東京都内直轄事業予算総括表

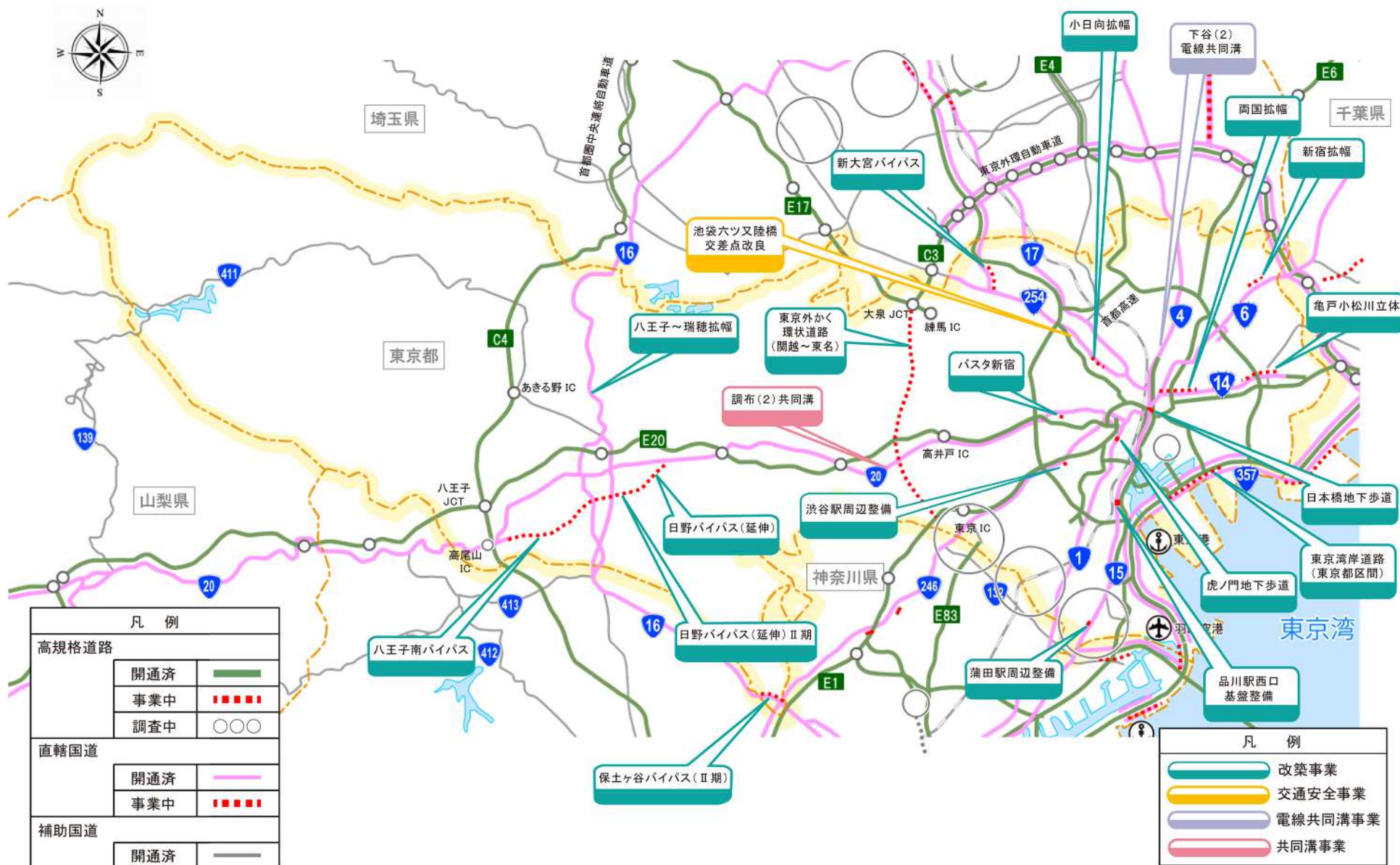
令和5年度の主な東京都内直轄事業の事業別内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

事業名	事業費						
	東京国道	相武国道	首都国道	川崎国道	大宮国道	東京外かく環状国道	合計
改築事業							49,990
東京外かく環状道路（関越～東名）						20,000	20,000
国道357号 東京湾岸道路（東京都区間）				3,947			3,947
国道1号 虎ノ門地下歩道	209						209
国道4号 日本橋地下歩道 （日本橋地区都市再生事業）	60						60
国道6号 新宿拡幅			540				540
国道14号 両国拡幅	1,000						1,000
国道14号 亀戸小松川立体			520				520
国道15号 品川駅西口基盤整備	9,800						9,800
国道15号 蒲田駅周辺整備				375			375
国道16号 八王子～瑞穂拡幅		50					50
国道16号 保土ヶ谷バイパス（Ⅱ期）				220			220
国道17号 新大宮バイパス					96		96
国道20号 バスタ新宿 （新宿駅南口地区基盤整備）	125						125
国道20号 八王子南バイパス		8,870					8,870
国道20号 日野バイパス（延伸）		700					700
国道20号 日野バイパス（延伸）Ⅱ期		270					270
国道246号 渋谷駅周辺整備	3,067						3,067
国道254号 小日向拡幅	20						20
国道1号他 環境対策	121						121
交通安全事業（Ⅰ種）							560
国道254号 池袋六ツ又陸橋交差点改良 他	510	50					560
交通安全事業（Ⅱ種）							938
国道1号他 防護柵、区画線、ＣＣＴＶ 等	938						938
電線共同溝事業							1,624
国道4号 下谷（２）電線共同溝 他	970	654					1,624
共同溝							520
国道20号 調布（２）共同溝 他	220	300					520
合 計							52,694

※上記の他、維持管理費、調査費等がある。

東京都内の主な直轄事業(道路)は、下図の箇所において実施しております



① 東京外かく環状道路（関越～東名）

R5 年度事業費：200.0 億円

1. 事業の概要

東京外かく環状道路（関越～東名）は、東京の中心から半径約15km地域を結ぶ延長約85kmの環状道路のうち、東京都市圏の都心方向に集中する交通を適切に分散、導入し、東京都市圏の均衡ある道路網体系を確立する関越道から東名高速までの延長約16kmの事業です。

《工事状況》



中央 JCT 北側ランプシールドトンネルの構築状況

《位置図》



2. 令和5年度の予定

令和5年度は、調査設計、用地買収、区分地上権設定、橋梁上下部工事、トンネル工事及び改良工事を実施する予定です。



② 国道357号 東京湾岸道路（東京都区間）

R5 年度事業費：39.5 億円

1. 事業の概要

国道357号東京湾岸道路は、東京湾に面する千葉・東京・神奈川の各都市を結ぶ延長約80kmの幹線道路であり、都市内の交通渋滞緩和、空港や湾岸地域の物流拠点とのアクセス向上など、物流の効率化を図る事業です。東京港トンネルの西行き（海側）は平成28年に、東行き（内陸側）は令和元年6月に開通しました。

引き続き、交差点の立体化や多摩川トンネルの整備を進めていきます。

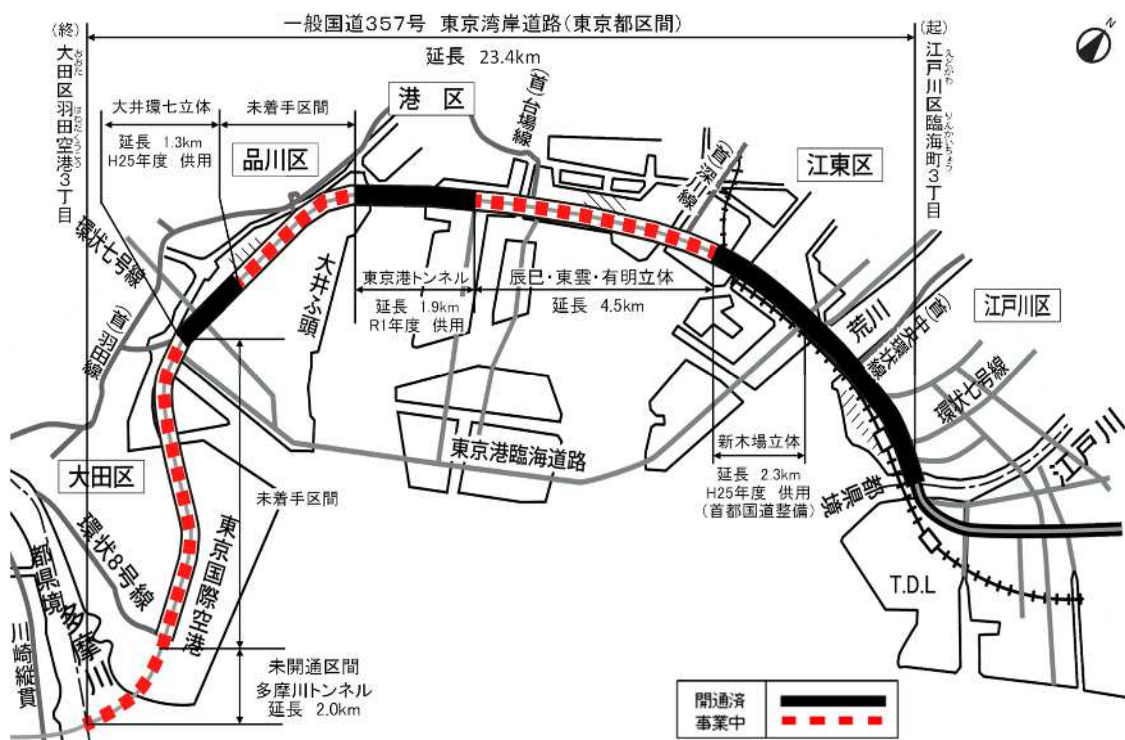
2. 令和5年度の予定

(1) 辰巳・東雲・有明立体

調査設計、辰巳地区・有明地区の橋梁下部工事及び改良工事を実施する予定です。

(2) 多摩川トンネル

調査設計、羽田地区において改良工事を実施する予定です。



辰巳・東雲・有明立体予定地付近



多摩川トンネル予定地付近

③ 国道4号 日本橋地下歩道（日本橋地区都市再生事業）

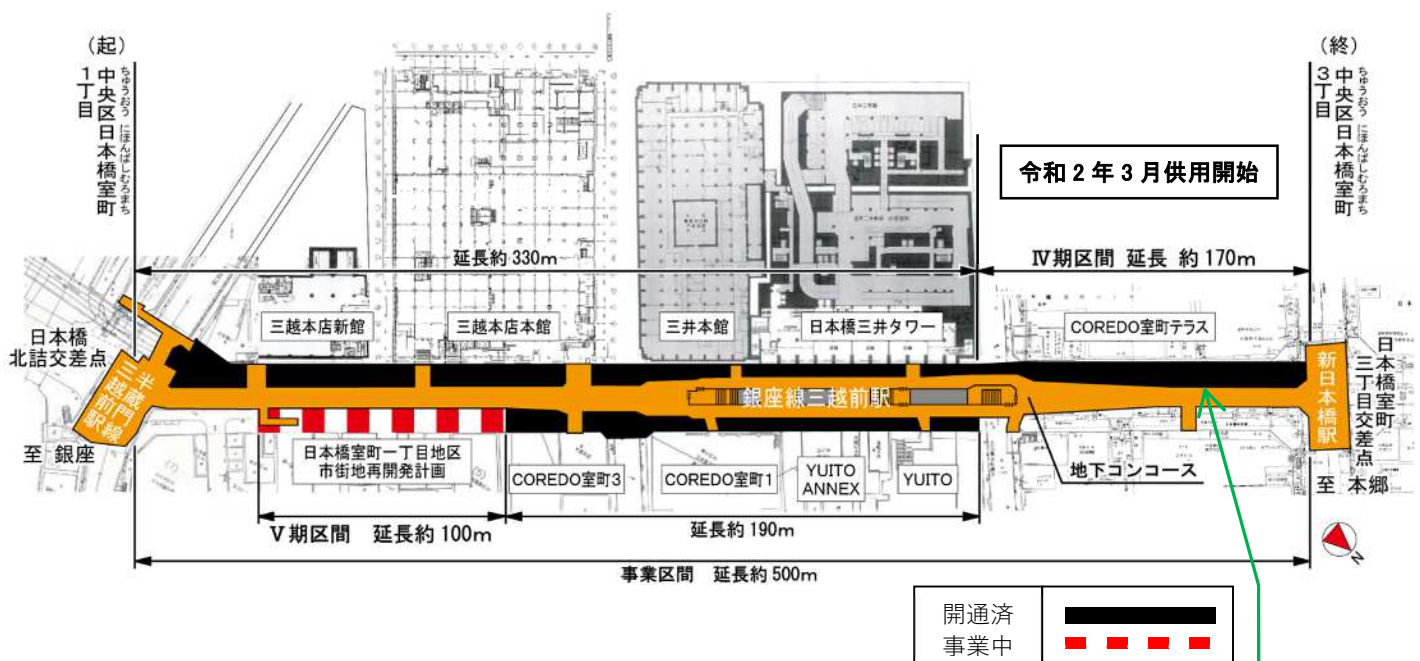
R5 年度事業費：0.6 億円

1. 事業の概要

日本橋地区都市再生事業は、国道4号の日本橋地区における、歩行者動線の確保や民間施設との一体化、地下鉄駅との連続性による回遊性の向上、新たな歩行空間の創出など、日本橋地区の都市再生に資する地下歩道整備事業です。

2. 令和5年度の予定

調査設計、環境整備を実施する予定です。



④ 国道6号 新宿拡幅

R5 年度事業費：5.4 億円

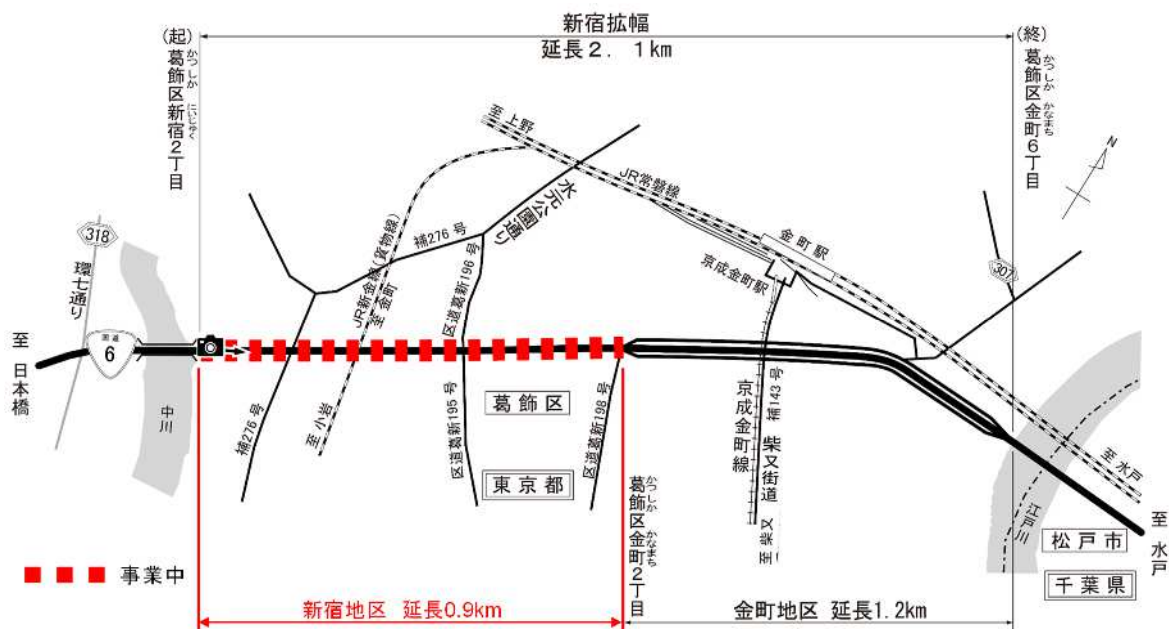
1. 事業の概要

国道6号新宿拡幅は、葛飾区新宿2丁目から葛飾区金町6丁目における、主要交差点・鉄道踏切を起因とする交通渋滞の緩和と沿道周辺の都市機能の改善を図るための拡幅・立体事業です。

新宿拡幅（延長2.1 km）のうち、金町地区（延長1.2 km）は、平成7年度に完成しており、現在、新宿地区（延長0.9 km）の6車線化の拡幅整備を進めています。

2. 令和5年度の予定

新宿地区の調査設計、用地買収、改良工事を実施する予定です。



中川大橋東交差点付近

⑤ 国道14号 両国拡幅

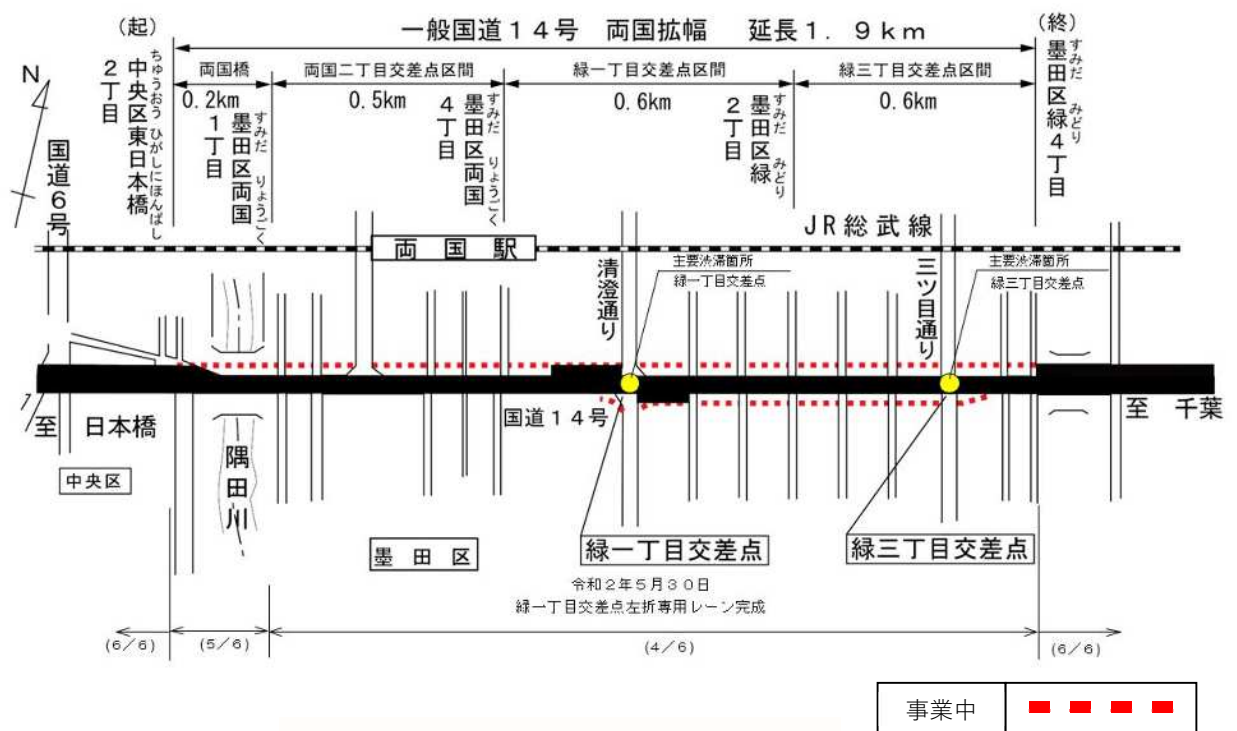
R5 年度事業費：10.0 億円

1. 事業の概要

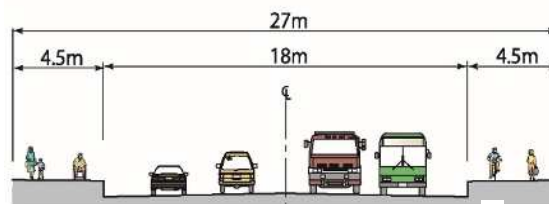
両国拡幅は、交通混雑の緩和、交通安全の確保、大規模地震時の緊急輸送道路の確保を目的とした中央区東日本橋2丁目から墨田区緑4丁目までの延長1.9kmの現道拡幅事業です。

2. 令和5年度の予定

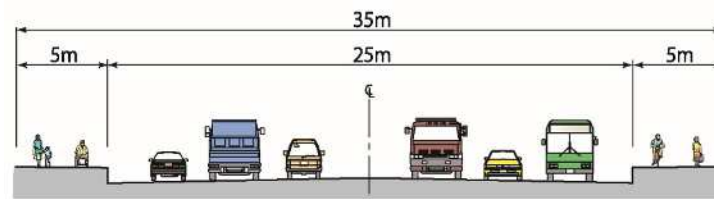
調査設計、用地買収、環境整備を実施する予定です。



【現況断面】



【計画断面】



※計画断面については、今後の関係機関協議等により変更する可能性があります。

⑥ 国道14号 亀戸小松川立体

R5 年度事業費：5.2 億円

1. 事業の概要

国道14号亀戸小松川立体は、東京都江東区亀戸9丁目から江戸川区大杉1丁目までの交通混雑の緩和、交通安全の確保、沿道環境の改善を図るための現道拡幅・連続立体事業です。

亀戸小松川立体（延長2.5km）のうち、江戸川区松島1丁目から江戸川区大杉1丁目の小松川地区（延長1.2km）の6車線化の拡幅整備を進めています。

2. 令和5年度の予定

小松川地区の調査設計、用地買収、改良工事、境川橋の撤去工事を実施する予定です。



※1 令和3年4月27日記者発表「防災・減災 国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」における新たな開通見通しの公表内容



東小松川交差点付近

⑦ 国道15号 品川駅西口基盤整備

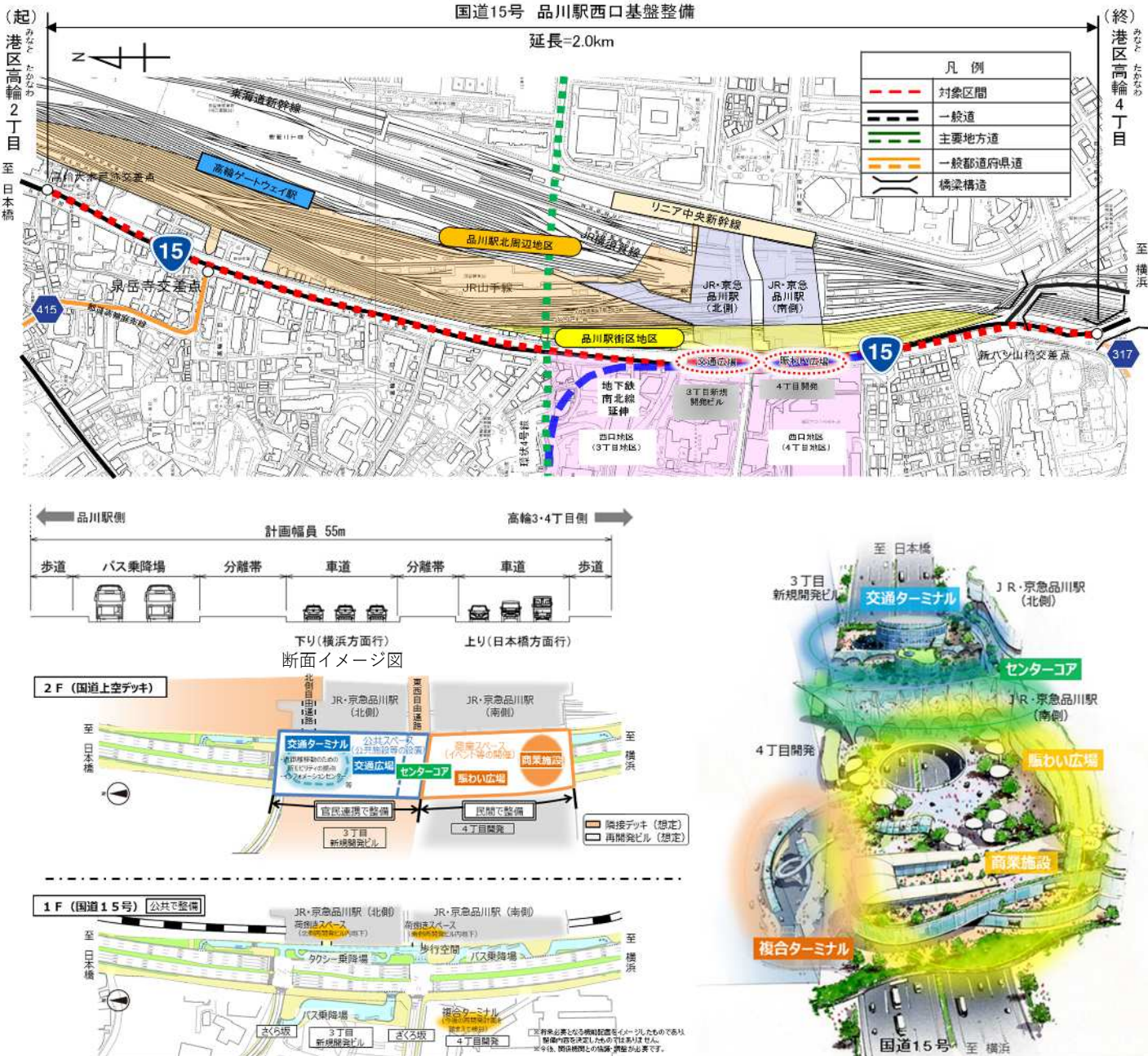
R5 年度事業費：98.0 億円

1. 事業の概要

国道15号品川駅西口基盤整備については、道・駅・まちが一体となった都市基盤の整備を進め、世界の人々が集い交わる未来型の駅前空間を目指すことを目的とし、自動車交通の円滑化や歩行者の利便性向上を促進するため、駅前広場の拡張や国道上空にデッキの整備を行う事業です。

2. 令和5年度の予定

調査設計、用地買収などを実施する予定です。



品川駅西口駅前広場の事業のイメージ

国道 15 号・品川駅西口駅前広場の将来の姿

⑧ 国道15号 蒲田駅周辺整備

R5 年度事業費：3.8 億円

1. 事業の概要

国道15号蒲田駅周辺整備は、国道15号と環状8号が交差する南蒲田交差点を、京浜急行連続立体交差事業と併せて立体化し、総合的な渋滞対策及び沿道環境の改善、交通結節点の機能強化を図る事業であり、南蒲田交差点の立体交差化は平成24年に、京急蒲田駅東口駅前広場と駅を結ぶ歩道橋は平成27年に完成しています。

引き続き、側道整備、橋梁の整備を進めていきます。

2. 令和5年度の予定

調査設計、橋梁上部工事（夫婦橋、上り線側）を実施する予定です。



①南蒲田交差点付近



②夫婦橋の現況

⑨ 国道16号 八王子～瑞穂拡幅

R5 年度事業費：0.5 億円

1. 事業の概要

国道16号八王子～瑞穂拡幅は、八王子市、昭島市、福生市、羽村市、西多摩郡瑞穂町の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした八王子市左入町から瑞穂町二本木までの延長14.6kmの現道拡幅事業です。

平成29年度に、昭島市拝島町から福生市熊川までの松原地区約1.7kmについて6車線化が完了したことにより、平面拡幅事業が概成しました。



2. 令和5年度の予定

調査設計を実施する予定です。



まつばら
松原地区 拡幅前航空写真
(平成19年3月撮影)



まつばら
松原地区 拡幅後航空写真
(令和2年2月撮影)

⑩ 国道16号 保土ヶ谷バイパス（Ⅱ期）

R5 年度事業費：2.2 億円

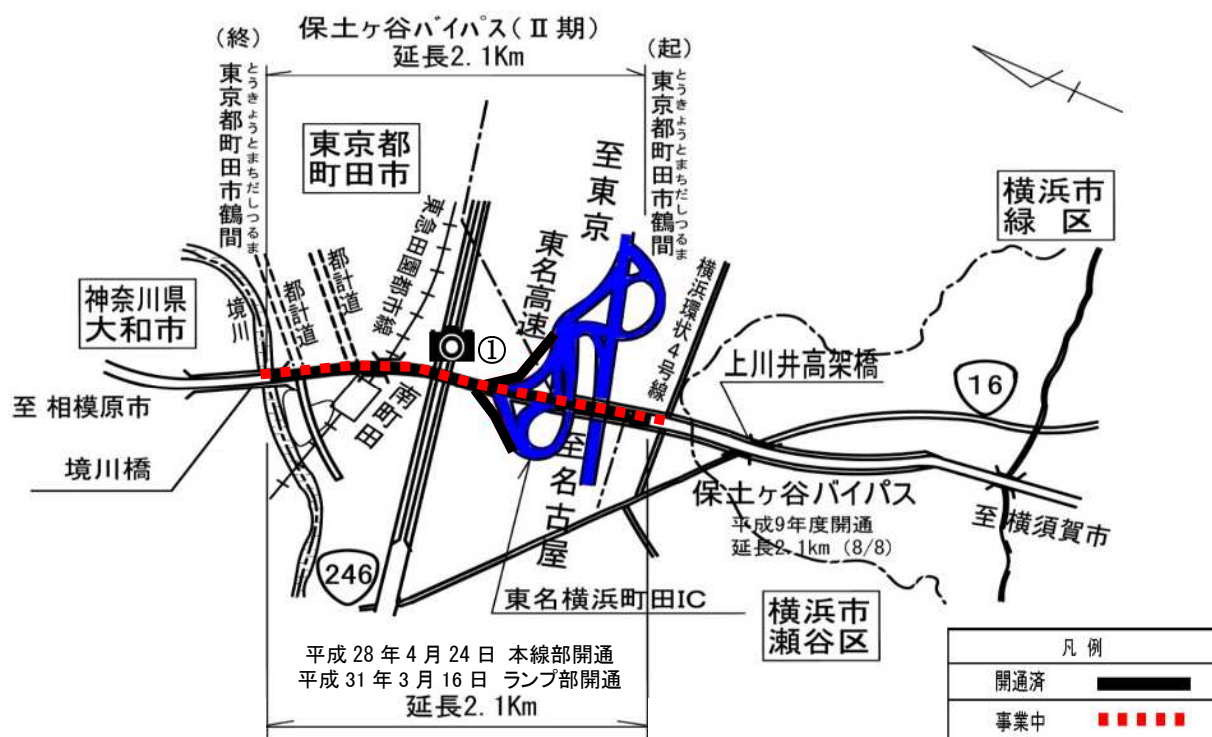
1. 事業の概要

国道16号保土ヶ谷バイパス（Ⅱ期）は、国道16号が国道246号と交差する東名入口交差点付近を立体化し、東名高速や横浜新道等の幹線道路との連絡強化、交通渋滞緩和、沿道環境の改善を図る等、円滑な道路交通網の形成を目的とした事業であり、立体本線部は平成28年に、東名横浜町田ICから本線立体部に繋がるランプ部は平成31年に開通しました。

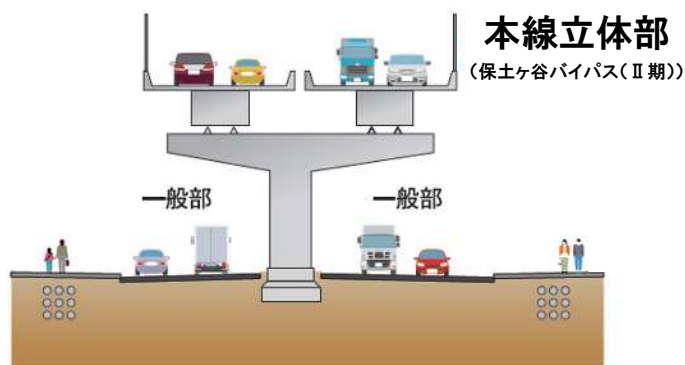
引き続き、一般部の整備を進めていきます。

2. 令和5年度の予定

調査設計、舗装工事を実施する予定です。



①町田市南町田付近



標準横断面図

⑪ 国道17号 新大宮バイパス

R5 年度事業費：1.0 億円

1. 事業の概要

新大宮バイパスは、国道17号の交通混雑の緩和を目的とした、東京都練馬区北町（北町 IC）から埼玉県さいたま市北区吉野町までの延長 23.2km のバイパス事業です。

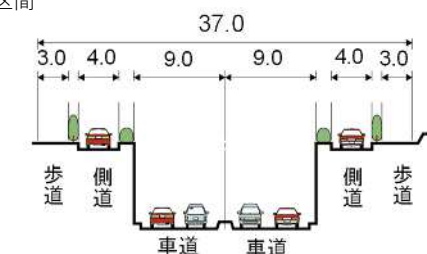
2. 令和5年度の予定

調査設計、下赤塚高架橋下部工を実施する予定です。

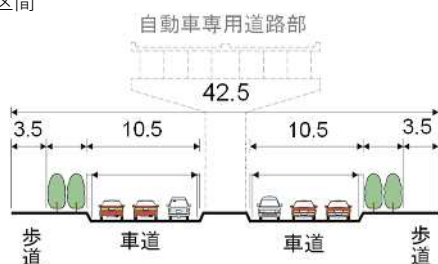


■標準断面図

4 車線区間



6 車線区間



単位:m

【練馬区北町付近】



(令和4年12月撮影)

⑫ 国道20号 八王子南バイパス

R5 年度事業費：88.7 億円

1. 事業の概要

国道20号八王子南バイパスは、八王子市域の交通混雑の緩和と交通安全の確保とともに、圏央道の高尾山ICと接続し、圏央道のアクセス道路として、行動範囲の拡大、移動時間の短縮を図る八王子市北野町から同市南浅川町までの延長9.6kmのバイパス事業です。

これまでに、町田街道（八王子市館町）から国道20号（八王子市南浅川町）までの約2.6kmが4車線で開通。また、八王子市大船寺田地区の約0.3kmが暫定2車線で開通しており、現在、国道16号（八王子市北野町）から町田街道（八王子市館町）までの約7.0kmで事業を推進しています。



2. 令和5年度の予定

調査設計、用地買収、改良工、橋梁上部工、トンネル工を実施する予定です。



① 館高架橋 館町地区から甲府方向を望む
(令和5年3月撮影)



② 寺田地区側道橋 寺田地区から甲府方向を望む
(令和5年3月撮影)



※：令和3年度に策定された防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラムで公表

⑬ 国道20号 日野バイパス（延伸）

R5 年度事業費：7.0 億円

1. 事業の概要

国道20号日野バイパス（延伸）は、国道20号（甲州街道）や、並行する北野街道等の交通混雑の緩和と交通事故の減少に伴う地域の安全性の向上を目的とした、日野市川辺堀之内から同市西平山三丁目までの延長3.8kmのバイパス事業です。



2. 令和5年度の予定

調査設計、用地買収、改良工を実施する予定です。



① 東豊田地区から甲府方向を望む
(令和5年3月撮影)



② 豊田南地区 整備状況
(令和5年3月撮影)



⑭ 国道20号 日野バイパス（延伸）Ⅱ期

R5 年度事業費：2.7 億円

1. 事業の概要

国道20号日野バイパス（延伸）Ⅱ期は、国道20号（甲州街道）や、並行する北野街道等の交通混雑の緩和と交通事故の減少に伴う地域の安全性の向上を目的とした、日野市西平山三丁目から八王子市北野町までの延長1.5kmのバイパス事業です。



2. 令和5年度の予定

調査設計、用地買収を実施する予定です。



① 北野公園前交差点から新宿方向を望む
(令和5年3月撮影)



② 北野橋南交差点から新宿方向を望む
(令和5年3月撮影)



⑮ 国道246号 渋谷駅周辺整備

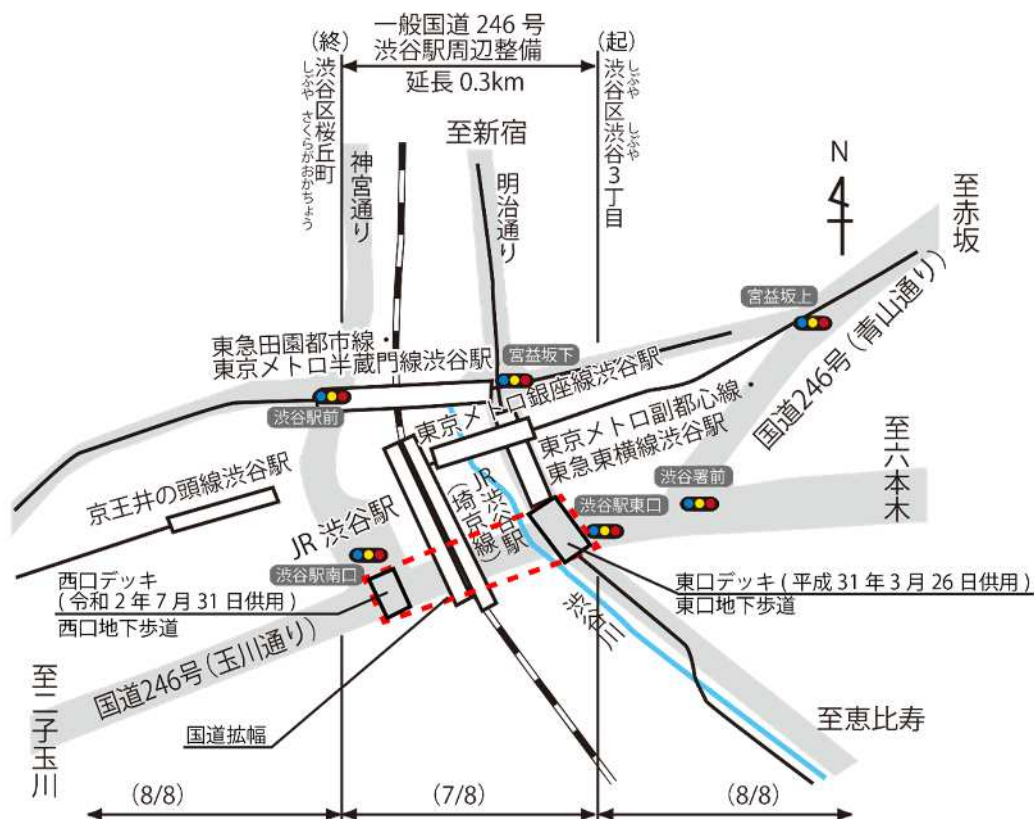
R5 年度事業費：30.7 億円

1. 事業の概要

国道246号渋谷駅周辺整備は、地下歩道・歩道橋（デッキ）の整備及び国道246号の拡幅により、公共交通機関への乗り継ぎ利便性の向上や道路空間のバリアフリー化とともに、交通渋滞の緩和等を図る交通結節点事業です。

2. 令和5年度の予定

調査設計、地下歩道工事、改良工事を実施する予定です。



※将来イメージ図であり、整備内容は今後変更する可能性があります。

交通安全事業（Ⅰ種）

東京国道事務所

相武国道事務所

R5 年度事業費：5.6 億円

1. 事業の概要

安全・安心な道路空間づくりの取り組みとして、死傷事故が多く発生している等の事故多発箇所、地域の声に基づく事故の危険性が高い区間等において、集中的な交通事故対策を行うほか、高齢者や障害者の方々の移動、安全性の向上を促進するため、バリアフリー化を進めています。

2. 令和5年度の予定（主な事業箇所）

国道254号 池袋六ツ又陸橋交差点改良（R5 事業費：1.0 億円）

当該箇所は、近くに商業施設や教育施設が立地するほか、池袋駅からも近いことから自転車や歩行者の交通量が多い場所です。また、国道254号の側道と都道および区道が交わる面積の大きな6枝の交差点であることから、走行位置や停止位置がわかりにくく、横断歩道手前での追突事故、右折車と対向直進車との衝突事故が発生しています。そのため、路面標示及び交差点形状の見直しなどにより交通事故の低減を図ることを目的に、調査設計及び工事を実施する予定です。

■位置図



■写真



■対策平面図



3. 令和5年度の予定（主な事業箇所以外）

- ・国道1号 虎ノ門横断歩道橋整備 : 工事を推進します
- ・国道16号 大和田町歩道整備 : 調査設計及び工事を推進します【R5 新規】
- ・国道20号 明大前歩道橋改修 : 調査設計及び工事を推進します
- ・国道20号 下石原交差点改良 : 調査設計を推進します
- ・国道254号 板橋中央陸橋交差点改良 : 調査設計を推進します【R5 新規】
- ・国道357号 京浜大橋周辺改良 : 調査設計及び工事を推進します【R5 新規】

電線共同溝事業

東京国道事務所

相武国道事務所

R5 年度事業費：16.2 億円

1. 事業の概要

電線共同溝は、電力線、通信線等をまとめて歩道などの下に収容する施設です。電線共同溝の整備により、無電柱化が図られ、大規模災害（地震、竜巻、台風等）が起きた際に、電柱等が倒壊することによる道路の寸断防止や、通行空間の安全性・快適性を確保するとともに、良好な景観を形成します。

2. 令和 5 年度の予定（主な事業箇所）

国道 4 号 下谷（2）電線共同溝（R5 事業費：3.5 億円）

電線共同溝工事を実施する予定です。

■電線共同溝の整備事例



国道 1 5 号 港区三田 3 丁目

共同溝事業

R5 年度事業費：5.2 億円

1. 事業の概要

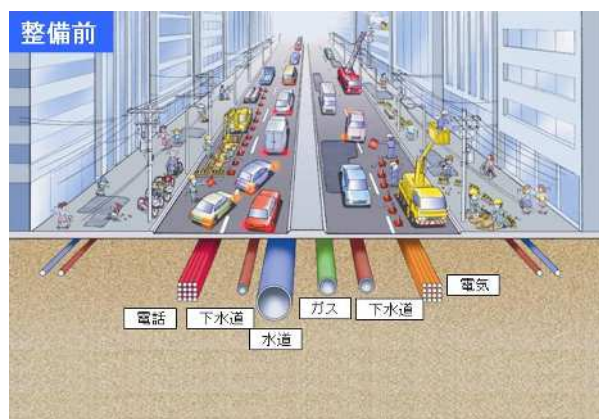
共同溝は、道路（車道）の下に通信、電気、ガス、上下水道などのライフラインをまとめて収容し、道路の掘り返しに伴う渋滞発生を解消するとともに、災害時におけるライフラインの安全性を確保するための施設です。現在、都心から放射方向への共同溝の整備を行うことで、共同溝のネットワーク化を進めています。

2. 令和5年度の予定（主な事業箇所）

国道20号 調布（2）共同溝（R5 事業費：3.0 億円）

共同溝工事を実施する予定です。

■共同溝の整備イメージ



維持管理

東京国道事務所

相武国道事務所

首都国道事務所

1. 国道の維持管理

道路を利用される方々に安全で円滑な道路交通を確保することを心がけ、適切な管理水準による効率的な維持管理を行います。

維持管理では、道路巡回パトロールや清掃・路面補修・緑地管理・災害時の応急復旧などを行っており、年間を通じた維持管理の状況を把握し、維持管理コスト縮減の工夫に努めていくとともに、一般交通に支障をきたさないように道路を常時良好な状態に保つため、適切な道路管理を行ってまいります。

※管理路線：東京都内の国道1号、4号、6号、14号、15号、16号、17号、20号、246号、254号、298号、357号

※管理延長：約241.2km

※適切かつ効率的な道路管理を実施するために別途「道路維持管理計画書」を定めており、東京国道事務所、相武国道事務所のホームページで確認することができます。



巡回
(落下物回収)

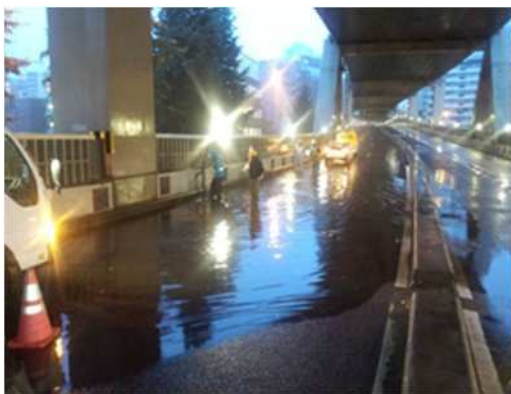


緑地管理
(除草)



路面補修

台風、集中豪雨、異常時の巡回や緊急処理を推進し、交通の安全確保を行います。
降雪時の凍結防止剤の散布や除雪作業を行います。



災害時の応急復旧（冠水処理）



除雪作業（国道20号大垂水峠）

維持管理（道路美化活動）

【道路美化活動】

- 快適な「みちづくり」を進めるため、地元地域・ボランティア団体・民間企業の方々のご協力を得ながら、道路の美化や清掃を行い、皆さまで共に快適な「みちづくり」を進める様々な道路美化活動の取り組みを実施してまいります。

（※令和5年度の実施については、現在検討中です）

1. ボランティア・サポート・プログラム

「道路を慈しみ、住んでいる地域をキレイにしたい」という自然な気持ちを形あるものにしようと考え出されたものが「ボランティア・サポート・プログラム」です。ボランティア活動をされている実施団体に対して清掃用具等の支給、サインボードの設置等を支援させていただいており、様々な団体及び関係者の方々と共に道路清掃を行っております。



「NPO 法人はな街道」



「国道 20 号日野バイパス」

2. 地域の方々との道路美化活動

地域の方々のご協力を頂き、様々な道路美化活動を行っております。



日本橋橋洗いを実施

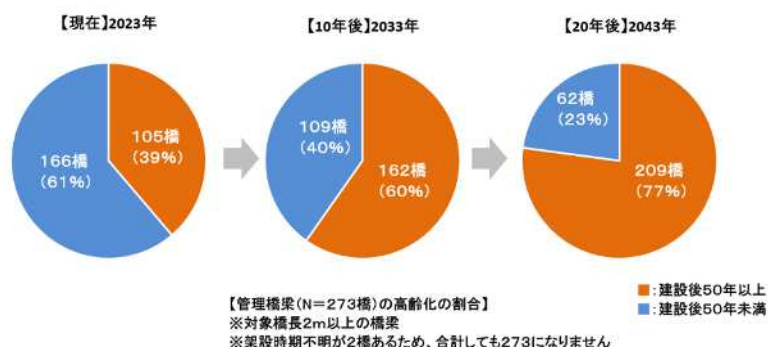


国道 20 号

維持管理（長寿命化対策）

○橋梁の補修

東京国道管内及び相武国道管内における橋梁の老朽化(建設後50年以上経過)は、現在4割ほどですが、10年後には約6割、20年後には約8割となり老朽化が急速に進行することとなります。そこで、個々の橋梁を定期点検により状況を把握し、重大な損傷に至る前に計画的に補修することで長寿命化を図ります。



また、臨海部等の重交通を担う路線においては、比較的若い橋梁においても損傷が確認されていることから、適宜補修をしています。

<主な箇所>

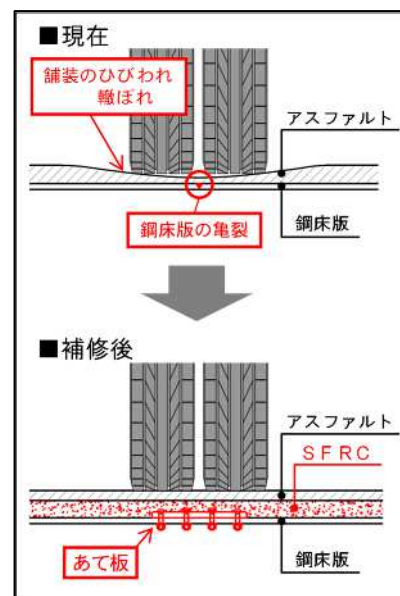
国道357号 荒川河口橋
 橋 長：840m
 橋 梁 形 式：鋼床版鉸桁橋
 交 通 量：4.4万台/日
 大型車混入率：36%
 架 設 竣 工 年：1996年



当該橋梁は架設後25年と比較的若いですが、臨海部の開発により急増した重交通に伴う繰り返しの荷重により、床版等に亀裂が発生したため、あて板や耐久性の高い特殊な舗装(SFRC 舗装:鋼繊維補強コンクリート)による補修を行い、安全な交通を確保し長寿命化を図ります。



荒川河口橋のあて板設置状況



鋼床版の補修イメージ 25 / 27

震災対策への取り組み

東京国道事務所

相武国道事務所

首都直下地震等に備え、大規模地震等の発生時における交通機能やライフラインの確保を図るため、下記の事業を実施しています。

①橋梁の耐震補強

重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保するために、橋梁の橋脚の補強及び落橋防止装置の設置等の耐震対策を実施します。



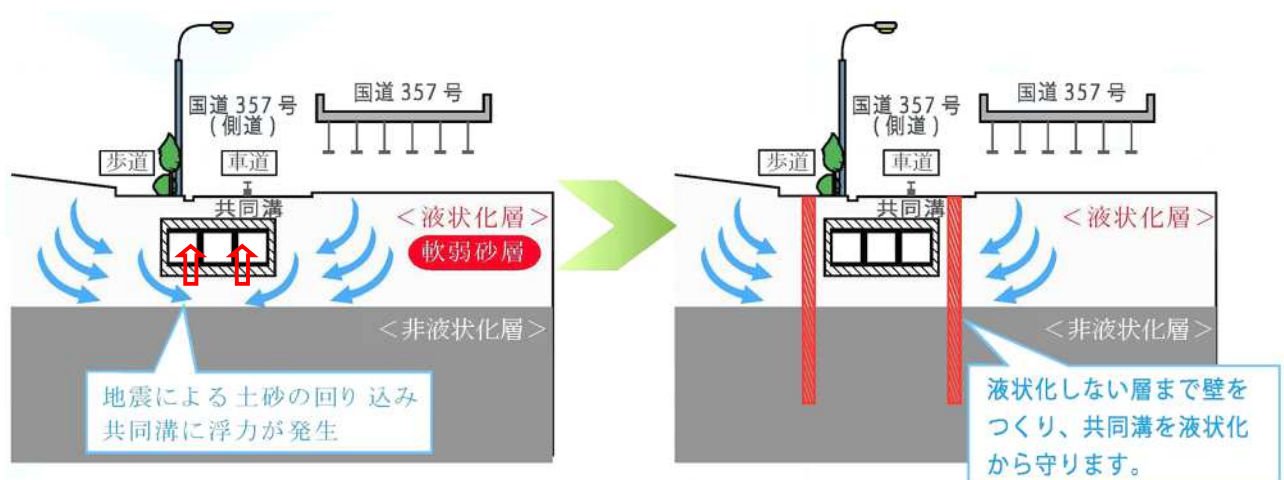
落下防止装置



コンクリート巻立による橋梁補強

②国道357号共同溝の液状化対策

地震時におけるライフラインの安全性・連続性の確保のため、東京臨海部の埋め立て地内にある国道357号のうち、液状化対策の必要性が確認された共同溝において、液状化の対策を実施します。



○首都直下地震を想定した防災訓練の実施

① クロスバイク隊訓練

災害時における滞留車両などの要因により、車両による道路パトロールを実施できない場合を想定し、クロスバイクによるパトロール訓練を実施します。

また、状況確認・報告手段としてウェアラブルカメラや衛星携帯電話を利用した訓練を実施します。



ウェアラブルカメラを搭載したクロスバイク
によるパトロール訓練



衛星携帯電話の操作訓練

② ドローン映像伝送訓練

災害発生時に、速やかに道路被害状況を把握することを目的に、ドローンや様々なセンシング技術を用いた映像伝送訓練を実施します。



ドローンによる空撮状況



衛星通信車（ドローン空撮映像を
衛星通信により伝送）